



# 名古屋東海ワイズメンズクラブ

## 会長主題 「次代へ～次の世代につなぐ」

国際会長主題	「フェロシップとイパ外で次の100年へ」	Samuel Chacko (India)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エガントに変化を」	Shen Chi Ming (Taiwan)
西日本区理事主題	「原点を知り将来に生かす」	田上 正 (熊本むさし)
中部部長主題	「明るく 清く 美しくーよき隣人として (befriending) ー」	山内 ミハル (金沢)
名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』		

### ----- 今月の聖句 -----

もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。

(マタイによる福音書 6章14節～15節)

## 強調月間 Building Fellowship

### 10月例会等ご案内

#### ◎10月第1例会

日程：2022年10月13日(木) 18:45～  
 担当：山村喜久君  
 会場：ラ・スースANN  
 開会宣言・点鐘：橋爪良和会長  
 ワイズソング  
 5つの信条：山田英次君  
 食前感謝：浅野猛雄君  
 一 会 食一  
 卓話：『わたしと世界のつながり  
 ～エチオピアの森、パラオの海～』  
 講師：空木マイカ(うつぎまいか)氏  
 グリーンジャーニー代表/ラジオMC/DJ  
 諸連絡  
 閉会宣言・点鐘：橋爪良和会長

#### ◎10月第2例会

日程：2022年10月20日(木) 19:00～  
 会場：名古屋YMCA

#### ◎日和田クロージング&火祭り

日程：2022年10月8日(土)～9日(日)  
 会場：日和田キャンプ場  
 集合：13:45 ワークする人 or 16:30 火祭りから  
 費用：火祭り 2,000円、宿泊協力費 1,000円

#### ◎第29回チャリティーラン2022

日時：2022年11月5日 9:30～  
 会場：名城公園

#### 東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 8月末一在籍者18名  
 (内広義会員2名)  
 出席者 15名 (Make up0名)  
 出席率 93.8%

#### 【特別ファンド】

8月のニコボックス 13,325円  
 利子 3円  
 現在保有額 1,568,574円

## 9月第1例会報告

### 『特別プログラムになりました』

松本 勝

本日は予定していた講師が、コロナの影響を受けてハワイで足止めとなり、コロナ禍による講師の欠席「その2」となりました。

そこで急遽メンバースピーチの会となり、木村君、鷺尾君、真鍋君、松本君がスピーカーとなりました。

木村君はフランスを旅した時にパスポートやカードを紛失した時の苦労話。まず写真を用意して大使館を訪ねることから始まりましたが、出会ったフランス人の対応が色々あってフランスの印象はあまりよくないようでした。行くのなら食事も美味しいベルギーがお勧めとのことでした。



鷺尾君は映画やジャズピアノ等数ある趣味のうち、なぜ競馬に凝っているのかをご子息の成長ぶりに合わせてお話されました。おかげで今でも競馬はご子息との重要なコミュニケーション手段となっているとのことでした。



真鍋君からはコロナ第7派の医療現場に立つ医師としてその現状と今後の見込みを聞きました。

「オミクロン株はウイルスが肺まで届かない軽症が多く、感染はピークを終えた感が強い。老人施設でクラスターが発生すると、老人の場合はコロナが陰性化しても食べられない等、体力を消耗して亡くなるケースが多いので、これが死者数を増やしていると思われる。飲み薬も開発されているが現状では流通量が少なく、また使用上の規制が強い。今後、薬がインフルエンザ並みの取扱いになればコロナもインフル並みにとらえていいのではないかと思う。これからはコロナとの共存だと思いがインフル並みの取扱いを『社会が容認』するかがポイントだと思う」とのことでした。



松本君は今年に入って週2日程度障がい者就労支援施設の支援員として働き始めたとの近況報告でした。

なお、会の冒頭、橋爪会長より2024年の西日本区大会を中部5クラブが共同してホストすることが報告されました。

日程：6月8日（土）単日開催

会場：市公会堂・ANAグランコート名古屋

【出席者】浅野、太田、神谷、木村、柴田、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、真鍋、八木、山田、山村、鷺尾、



## 9月第2例会報告

1. 黙祷を持って開会
2. 9月第1例会は講師のアクシデントで急遽メンバースピーチとなったが、結果オーライであったと評価した。
3. 西日本区ロースター到着。  
希望者に協力金一冊 2,000 円で配布を開始した。
4. 中部部会・金沢クラブ 75 周年記念例会  
参加者は以下の予定。  
浅野、太田、橋爪、松本、山田、鷺尾
5. 名古屋 YMCA 大会報告 橋爪会長より
6. 今後の予定  
10/8～10/9 日和田クロージング&火祭り  
11/5 チャリティーラン 名城公園  
11/12 六甲部会  
11/19 京都ブラックワイズチャータナイト
7. 10月第1例会の件  
10/13 会場ラ・スース ANN  
担当山村君  
講師 空木マイカ氏 グリーンジャーニー代表  
テーマは後日連絡あり
8. チャリティーランの支援金は予算通り一般会計より支出することを確認
9. クリスマス祝会について  
12/3・12/4 が第1候補。10月第1例会にはハッキリさせたい。ラ・スース ANN の2階は使用可能とのこと。  
【出席者】浅野、太田、柴田、谷口、橋爪、松本、八木、山田、山村、鷺尾

## 第9回名古屋YMCA大会のこと

橋爪良和

名古屋YMCAにつらなる会員、スタッフ、リーダーなどが集まる年1回のYMCA大会が、9月10日午前10時から南山YMCA・南山幼稚園で開かれました。大会にはリーダーの学生から幼稚園、保育園、日本語学校のスタッフなど平均年齢の高いわがクラブのメンバーとは2～3回

近く違う、若い皆さんとともに90人ほどの参加があり、YMCAの若い力を感じることができました。コロナ禍により、3年ぶりのリアル開催となり、実際に顔を合わせてのプログラムは気持ち伝わる力の差がはっきりと現れたように思います。



大会のテーマは「今から未来へ」。コロナ禍はすぐには収まらないことを前提に、混迷する社会の中で、自分たちはどう前に進んでいくか。YMCAのそれぞれの拠点の現況報告と抱負が語られました。120周年を迎えた名古屋Yは南山幼稚園をはじめ2つの保育園・保育室、日本語学校、サポートセンター、キャンプ場などを擁し、人と人の絆と社会とのつながりを求めています。とくに若いリーダーのパワーは、必ず未来につながっていくことを確信します。また、形は違ってもそれぞれの世代で社会に貢献できることは必ずあるということに改めて感じることができました。

今回参加出来なかった人は来年ぜひ、参加してみてください。(写真はリーダーのボランティア認証式)

## 「継続について考える」

鷺尾文夫

月日の経つのは早いもので、私も9月で74歳になりました。我々団塊の世代も後期高齢者になりつつあります。私自身自由な時間は多くありましたが、雑な性格が禍して片付けには無頓着でした。最近になって重い腰を上げ自宅の整理を毎日少しずつ始めました。私の両親は大正生まれであ

り、物を大事にする習慣があったからだと思いますが、納戸の整理をしていたら段ボール2箱分の父親の書類等が出てきました。中には、私の小学校から高校までの通知表も入っていましたが、大きな紙袋が大事そうに保管されていました。紙袋には、父の実親の資料と写真が入っていました。



私の父は、鷺尾に5歳の時に養子に入っており、もともとは堀田姓です。資料を読んでもみると、私の実の祖父は歴史学者であることがわかりました。私は歴史に対してさほど興味がなく、DNAは受け継いでおりませんが、少しだけ祖父のことを紹介したいと思います。

名前は堀田璋左右。明治4年に丸亀藩主堀田勝親の長男として生まれ、第一高等学校、東京大学史学科を卒業し、東京大学、早稲田大学の講師を勤めました。吾妻鏡の研究家であり、名古屋市史、丸亀市史の編集に参加し、88歳で生涯を閉じたと書かれておりました。

家系図を調べていくうちに、先祖がいて今の私がおおり、中学生の孫がまた次の代を引き継いでくれると思うと、うれしい気持ちになりました。



家の整理をしながら、なぜかクラブのこれらを考えていました。残念ながら高齢化が進んでおり、急に不安になりました。ふっと後ろを振り返ったら誰もいなかったではいけないと思いません。今期の橋爪会長の主題は「次代へ～次の世代につなぐ」であります。クラブが未来永劫続くためにも、我々会員が一人でも多くメンバーを増やす努力をすることがこれから大事なことだと思います。

ロータリークラブやライオンズクラブでは、当クラブのような家族的雰囲気を楽しむことができません。私も積極的に声掛けをしていこうと心から思っています。

## 第26回中部部会 金沢クラブ75周年記念例会報告

9月24日(土)金沢ニューグランドホテルで開かれる第26回中部部会・金沢クラブ75周年記念例会に出席すべく特急しらさぎに乗った。到着した金沢駅の人の多さには驚かされた。

過去2回は対面での開催はできず、3年ぶりの対面での会となった部会では各部長や主任・主査から今年目標等が語られた。記念例会では歴史考証復元画家の末松智氏の講演は大変興味深かった。会食・親睦時間の光景は、人との対面でのやり取りの大切さを実感させるものだった。参加者は名簿によれば中部以外の西日本区29クラブから65名、中部から38名であった。山内部長を始め金沢クラブの心のこもったホストぶりに感謝しつつ帰路についた。来年は我がクラブがホストである。しっかりと準備に入らねばと決意を新たにした。  
(松本)

